

(5) 海神スパローズ

平成 17 年 11 月 15 日

チーム名 「海神スパローズ」

監督 吉田 栄治

少年野球について

船橋市から参加させていただいています海神スパローズの吉田と申します。

市川ジュニアリーグを通じて子供達には、常に挨拶、礼儀がしっかり出来るように指導してきました。

まず最初に私が篠崎さんにこっぴどく叱られたのを思い出します。

子供達については、技術の向上だけではなく相手のことを思いやれる心をもった子供に成長して欲しいと思います。

技術指導については、故障して野球が出来なくなるのが、私にとって一番辛いことであって指導者失格だと思っています。

40歳、50歳になっても野球が好きで、いつまでも野球を愛していて欲しいと常々思っています。

楽しむ野球をモットーとしていますが、ある程度の厳しさがないと本当に野球を楽しむことも出来ないと思います。

厳しい練習を皆で乗り越え、その成果を試合で発揮する。

勝ち負けはあると思うが、チーム全体で戦ったという達成感が芽生えてくると思います。

この少年野球で培った宝物は中学、高校、社会人となるにつれて健全な精神を持った人間になると私は確信しています。

最後に少年野球とは人間形成に欠かせない基礎となる活動だと思います。

・自分の父親だけだと、素直に聞けなかったりすることでも、監督やコーチが、子どもに指導してくれるので、子どもにとってためになります。
地域にさまざまな大人が見守ってくれると言うことは、子どもの健やかな成長のためには良いことだと思います。

・家でひきこもってゲームばかりしているのではなく、友達や監督、コーチと一緒に、現実のダイナミックな経験ができると言うことは、素晴らしいです。
近隣の学校にも多くの友達ができ、お互いが刺激をしあいながらも、楽しくスポーツができるということに感謝しています。

・子ども同士の人間関係が希薄化しているといわれる現在、泥まみれになって、白球を追いかけている子どもたちの姿をみて、日本の将来もまだまだなんとかなりそうな気がしました。

・お受験で毎日温度変化のない塾の教室で夜遅くまで、つまらない詰め込み学習をしている子どもたちがいるなかで、うちの子は子どもらしく育てているなと思います。

・監督はかつて実業団の選手をされていた方で、野球の専門家です。指導は、意味もなく怒鳴り続けるようなこともなく、理にかなっており、子どもたちもいきいきと野球を楽しんでいます。本当にいい指導者だと思います。親としても信頼して子どもを預けています。

・監督、コーチはもちろんですが、審判や野球協会の方、学校のグラウンドを管理してくださる方々が、ボランティアで休日返上でご尽力いただいていることに感謝します。また、行政の協力も欠かせませんので今後ともよろしくご協力お願いいたします。

・早寝、早起き、身の回りの整理整頓など、基本的な生活習慣が身についてきました。チームで挨拶指導などしっかりやっていたらいい結果だと思います。

・幼稚園生の妹に対する思いやりが見られるようになってきました。野球では同じ年以外、上や下の学年の子どもたちと接する機会が増えたからでしょうか。

・食べ物の好き嫌いがなくなりました。野球がもっと上手になるには、なんでも好き嫌いなくいっぱい食べて、もっと大きくならなきゃだめだといつも言っています。

・チームの決まりに、学校の宿題を済ませてから練習に参加すること、とあるからでしょうが、普段の家での勉強に短時間ですが集中できるようになりました。

・季節の変わり目など、よく風邪を引いたものですが、野球を始めてからほとんど風邪を引かなくなりました。自分の体は自分で管理することが少し身についてきたようです。

・野球を始めるまではおとなしく静かな子だったのですが、少し明るくなってきました。練習から帰った後の夕食やお風呂などでその日あったことを生き生きと話してくれます。

・野球を始めて、最初はみんなについていけなかったけれど、試合に出て、ファインプレーやバッティングができるようになったので、海神スパローズに入ってよかったと思います。

・うちの子どもは、3年生の2月から少年野球を、やるようになって、まだ1年たちませんが、その間に、言葉遣いが良くなり、わがままな行動が少なくなりすごく成長したと思います。少年野球に感謝しています。

・こどもが野球をするようになり、時間の使い方が、しっかりできるようになった気がします。週末は練習があるので、金曜日のうちに宿題を済ましたり、自分からやるべきことができるようになってきました。

・練習や試合の後、汚れたユニフォームやストッキングを自分で風呂で洗っています。他にもグラブを磨いたり、物を大切にするようになりました。